

県立図書館だより

平成23年6月

青森県立図書館報 第10号



子育て支援コーナー新設！

平成23年5月27日、一般閲覧室に「子育て支援コーナー」が新設されました。

妊娠・出産、育児、しつけなど、主に就学前の子育てに関連した図書やパンフレット等の資料を集め、赤ちゃんや幼いお子さんを連れた利用者の方も、ゆっくりと本を選んだり、読んだりできます。



絵本や乳幼児用ベビーカーも用意しておりますので、どうぞご利用ください。

目 次

子育て支援コーナー新設	1
学校図書館アシスト事業について	2
こんなレファレンスがありました	3～4
子どもの本の紹介	5
郷土資料の紹介	6
近代文学館資料の紹介	7
カウンターから一言	8

学校図書館アシスト事業

青森県立図書館では、平成21年度より県内の小学校・中学校・県立学校を対象に、学校図書館が児童生徒に読書の楽しさや大切さを伝える場として、また、調べ学習などの自発的、主体的な学習を支援する場として、より機能するよう、県立図書館職員が訪問し、具体的な助言や情報提供を行う「学校図書館アシスト事業」を行っております。

これまでに、**小学校19校、中学校10校、県立学校14校、特別支援学校6校**へ訪問しており、本年度も訪問を希望した学校へ順次訪問することとしております。

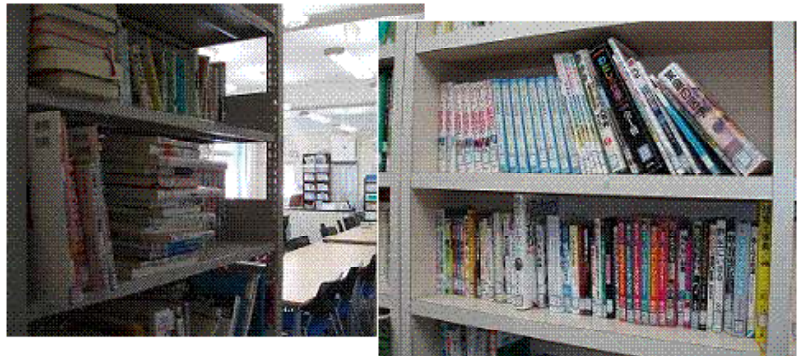
最初の訪問時

◇◆ある県立学校の例◆◇

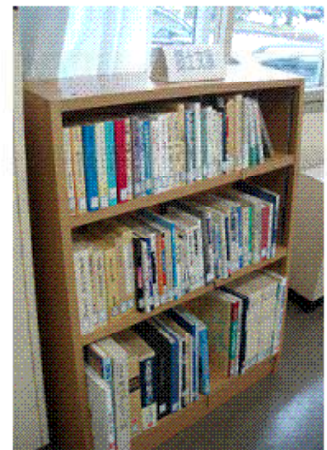
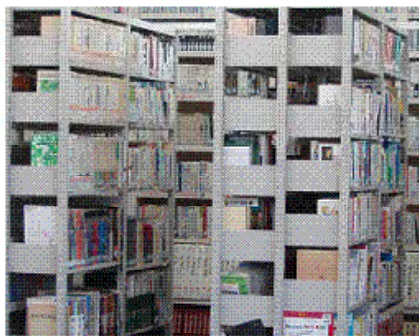
訪問時、図書館システムを導入予定で図書の整理を行っている最中でした。

それに伴って、**原簿との照合、図書カードの整備、分類作業、バーコード貼付等**について助言や情報提供を行いました。

そのほか、**書架の表示**をもっと分かりやすく目立たせること、本は棚の手前に揃えて排架すること、図書準備室を有効活用して情報が古くなった本や旧版等を移動させること、図書準備室にある郷土資料を生徒が閲覧できるように移動すること等を実際に図書室で書架を見ながら助言しました。



最初の訪問から3ヶ月後…



再度訪問した際は、図書館システムに30%ほど入力済でした。

助言のとおり、分類作業等の図書の整理を進めており、**見つけやすいよう差込式の書架表示の採用、取り出しやすいよう棚の手前に揃えて排架、郷土資料コーナーを新設、図書準備室の有効活用など、システムだけでなく、図書室環境の改善**も行っていました。

この他にも県立図書館では、大学等図書館との連携や、朝読書用の図書セットの貸出、専門高校への専門図書の貸出事業「専門高校ブックd eサポート事業」等の学校へのサービス提供・連携も行っております。

こんな レファレンスがありました

(第10回)



参考・郷土室では、「探している本が、どこの図書館にあるのか知りたい。」「こんなテーマの本はありますか。」「こういう事柄や人物を調べたいが、どんな本がありますか。」などというレファレンス（質問）に、図書館資料等を使って、お答えしています。

そのレファレンスの中から、郷土や最近の話題を取り上げて紹介していきます。

先日、新聞に「地震が影響？温泉に異変 各地で湯量の増減や濁り」（2011年5月5日付朝日新聞より）という記事が掲載されていました。東日本大震災の直後から、各地の温泉地で湯が突然増えたり、出なくなったりし、また、泉質が変わったところもあるそうです。専門家は「地震で大きな地殻変動が起きて、温泉にも影響がでた」と話しているとのこと。

青森県の観光資源のひとつとして温泉があげられますが、今回は、レファレンスでお問い合わせをいただいた、温泉に因んだ話題を紹介します。

【質 問】青森県は温泉がとても多いですが、温泉の数は全国で何位ですか？

青森県では街のいたるところで温泉施設を目にする程温泉が多いですが、具体的に「温泉の数は全国で何位？」と聞かれると、即答は難しいのではないのでしょうか。また、温泉の数といっても、源泉の数や、温泉地の数など様々あります。

【回 答】

環境省で公表している「温泉利用状況報告（平成21年3月末現在）」によりますと、青森県は源泉総数が**全国6位**、温泉地数が**全国第4位**、湧出量が**全国4位**となっています。

源泉総数（ヶ所）	温泉地数（ヶ所）	湧出量（リットル／分）
1位 大分県 4,788	1位 北海道 254	1位 大分県 295,740
2位 鹿児島県 2,824	2位 長野県 231	2位 北海道 260,397
3位 北海道 2,304	3位 新潟県 150	3位 鹿児島県 200,694
4位 静岡県 2,283	4位 青森県 148	4位 青森県 171,961
5位 熊本県 1,388	5位 福島県 138	5位 熊本県 132,084
6位 青森県 1,171	6位 秋田県 127	6位 長野県 121,734

（『環境統計集 平成22年版』環境省総合環境政策局環境計画課 2010年）

それでは、温泉に関することで、青森県が日本一のものは何かないのでしょうか？

「人口10万人当たりの公衆浴場数」

人口10万人当たりの公衆浴場数が25.2ヶ所と全国第1位。ちなみに第2位の鹿児島県で19.4ヶ所、全国平均は4.7ヶ所なので、ダントツ1位です。

以前、青森インターチェンジ近くの温泉に朝6時頃入浴していたところ、県外からの観光客が「高速道路を降りてすぐに、こんなに朝早くから営業している温泉があるなんて！他ではなかなか無いよ」とおっしゃって、大変喜んでいました。他県の方が驚かれるくらい、青森県内では温泉が身近なものですね。

「日本一黒いお湯」・・・「東北温泉」（東北町）

古代の植物が堆積した層を通過して湧出する植物性モール温泉で、お湯の色が日本一黒い。（岩手大学大学院工学研究所工学博士からの分析評価あり）天然保湿成分の「メタケイ酸」を特に多く含み、美肌効果があるそうです。

「日本一深い温泉」・・・「六ヶ所温泉」（六ヶ所村）

湯船の深さが、というわけではなく、日本一深い場所から湧出している温泉。

その深さは2,714メートル。青森県で一番高い山の岩木山で1,625メートルですから、かなりの深さです。

「国民保養温泉地(注1)指定第1号」・・・「酸ヶ湯温泉」（青森市）

昭和29年10月11日に栃木県日光湯本温泉、群馬県四万温泉と共に、日本で最初の国民保養温泉地に指定されました。

6月は環境月間です。地下からこんこんと湧き出る温泉。この地球の恵みに感謝しながら、温泉を楽しむのもよいのではないのでしょうか。

注1…国民保養温泉地とは、「温泉法」に基づき、環境大臣が指定している療養、保養、休養に適した健全な温泉地のことをいい、温泉の効能、湧出量及び温度、付近の景観が佳良であるなどの条件を満たしている必要があります。平成23年1月1日現在91ヶ所指定されており、青森県では他に薬研温泉（むつ市）があります。



【参考資料】

『統計でみる都道府県のすがた2010』総務省統計局 2010年

『数字で読む青森県2010 AOMORIピカイチデータ』青森県企画政策部統計分析課 2010年

「湯～ったり気分 東北温泉」（『グラフ青森 No.361』）グラフ青森 2009年

「ぶらり温泉行 東北温泉の巻」古川壬生著（『北の街 2009・4月号』）北の街社 2009年

「湯～ったり気分 六ヶ所温泉」（『グラフ青森 No.255』）グラフ青森 2000年

「国民保養温泉地一覧（都道府県別・指定年月日順）」

（環境省HP <http://www.env.go.jp/nature/onsen/area/>（2011.5.20確認）） 等

●レファレンスは、電話・手紙・FAXのほか、電子メールでも受け付けています。

レファレンス申込み及び問い合わせ先

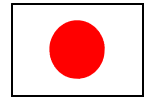
青森県立図書館 参考・郷土室

電話 017-729-4311

FAX 017-762-1757

電子メール sanko@plib.pref.aomori.lg.jp

子どもの本の紹介(第10回)



日本とドイツの交流は、1861年1月24日（万延元年12月14日）に始まりました。（注1）そして、**2011年は、日本とドイツの交流が始まって150周年目にあたります。**

ドイツの本というと、グリム童話が有名ですね。最近『ラプンツェル』が映画化されました。その他にも、ミヒャエル・エンデ（『モモ』）、ハインリッヒ・ホフマン（『もじゃもじゃペーター』）、エーリヒ・ケストナー（『エミールと探偵たち』）など、ちょっとひねりのきいたお話、面白いお話、読み応えのあるお話がいろいろあります。また、ドイツのことを紹介している本もあります。

青森県では、六ヶ所村がドイツ・ヴァーレン市と友好都市になっています。この機会に、ドイツのことをもっと知ってみたいと思いませんか。

『リベックじいさんのなしの木』テオドール・フォンターネ／文 ナニー・ホグロギアン／絵 藤本朝巳／訳 岩波書店 2006 (E ホグ*ロー* A05B)

ドイツのハーフェルラントというある村に、リベックじいさんが住んでいました。リベックじいさんの屋敷には、1本の梨の木があり、秋になると、たくさんの梨が実のりました。リベックじいさんは、梨の実をかごいっぱいに入れて、みんなに分けてあげました。

『リベックじいさんのなしの木』テオドール・フォンターネ／ぶん マルタ・コーチャー／え ささきたづこ／やく ペンタン 1992 (E コー*マ 集密2) もありますので、訳者や画の違いを楽しんでみてください。

『大どろぼうホッツェンプロッツ』改訂版 新・世界の子どもの本 1
オトフリート・プロイスラー／作 中村浩三／訳 偕成社 1990
(493J プロ*イス*オ A09B)

おばあちゃんの大事なコーヒーひきが、大泥棒ホッツェンプロッツに盗まれました。そこで、孫のカスパールと友達のゼッペルは、大どろぼうホッツェンプロッツをつかまえようと隠れ家を探します。でも、2人ともホッツェンプロッツに捕まってしまいました。

『おこりんぼママ』ユッタ・パウアー／作 小森香折／訳 小学館 2000
(E パウ*アー*ユ A06A)

『ドイツ』ナショナルジオグラフィック世界の国 ヘンリー・ラッセル／著
ベネディクト・コルフ／監修 アンティエ・シュロットマン／監修 ほるぷ出版 2008 (290J ナシ*ナ A01B)

『デューラー』はじめてであう絵画の本 デューラー／画 アーネスト ラボフ／監修 みつじまちこ／訳 あすなろ書房 1995 (720J ラボ*フ*ア(2))

この他にも、ドイツに関するさまざまな本があります。ぜひ、ご覧ください。

（注1）日独交流150周年ホームページ＞歴史 <http://www.dj150.jp/geschichte.html> (2011. 5. 20確認)



郷土資料 の 紹 介 (第10回)

今年3月11日に三陸沖を震源として発生した平成23年東日本大震災は、日本国内観測史上最大となる最大震度7、マグニチュード9.0を記録し、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

この巨大地震により、八戸市・東北町・五戸町・階上町及びおいらせ町で最大震度5強の揺れを観測するなど、青森県内も大きな被害を受けました。被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

今回は、**過去に青森県内で発生した地震に関する資料**をご紹介します。

青森県がこの大災害からいち早く立ち上がって復興を進め、東北再生の原動力となるためには、今何が必要なのか。これらの資料の中から、その手がかりが見つかるかも知れません。

『青森県の地震・火山史料 上・下』（田中和夫編 弘前大学理工学部附属地震火山観測所 2005）



青森県で発生した有感地震・被害地震に関する記述を、膨大な文献の中から採集して発生年代順に編集することにより、青森県の地震活動を通覧できるようにした資料。

延元元年から平成6年までに発生した地震について、古文書の記述や新聞記事等を採録し、必要に応じて注や解説をつけるほか、下巻巻末には岩木山・十和田・八甲田山・恐山の火山活動に関する様々な文献の記述をまとめる。

『わたしの三陸はるか沖地震』（八戸コミュニティボード 1995）

八戸市民による平成6年三陸はるか沖地震の体験記録集。自らも被災しながら、直後の阪神大震災に駆けつけた八戸市民のボランティア活動記を付す。

『大地震に遭った子どもたち』（清永賢二ほか著 日本放送出版協会 1984）

昭和58年日本海中部地震で被災した青森と秋田の小・中学校を取材して得た子ども達や教師の貴重な体験談と、昭和43年十勝沖地震の事例から、防災教育と学校の危機管理のあり方について考える。

青森県立図書館では、青森県に関する資料や、青森県内で刊行された資料、青森県在住者・出身者の著作物などを郷土資料として積極的に収集し、永く保存するとともに、県内外の皆様に広くご利用いただいております。

今後ともこのコーナーでは、当館所蔵の郷土資料の中から、普段はあまり人目に触れる機会の少ない貴重な資料などをご紹介します。

近代文学館資料の紹介(第10回)

大塚甲山編輯『俳句選』・雑誌「小文庫」・雑誌「新小説」

青森県近代文学館では、7月16日から9月11日まで特別展「大塚甲山没後100年展」を開催します。今回は、展示予定の資料の中から3点を紹介します。

① 大塚甲山編輯『俳句選』 内外出版協会 初版 明治34年8月24日

大塚甲山(1880-1911)は、31歳で夭折するまでに、約1万句の俳句を残しました。16歳から句作を始めた甲山は、内藤鳴雪に認められ、『俳句選』の刊行に当たっては、21歳の若さで地方在住にもかかわらず選句を任されました。

この後、『俳句選』は第三集まで刊行され、甲山はそれらの編集を行ったほか、『一茶俳句全集』『芭蕉俳句全集』の編纂など、明治30年代に群を抜く活躍をしました。この『俳句選』は、甲山の最初の大きな仕事です。



② 雑誌「小文庫」 少年園 第2巻3号 明治30年5月25日

甲山は、少年時代から俳句や文章を雑誌に投稿し続けています。この「小文庫」には「花咲爺」に似た「昔吾村に」あった次のような話を投稿しています。

翁に可愛がられた白犬が、山で兎を捕って恩返しをした。それを羨んだ隣の翁は、無理に犬を借りて山へ行ったところ蜂に襲われ、怒って犬を殺してしまった。犬の死骸を埋めた所から一本の木が生え……

上北郡浦野館村大塚壽助、後の甲山17歳の作品です。

「昔噺を記す」所収



③ 雑誌「新小説」 春陽堂 第9巻9号 明治37年9月1日

**「我は何ぞや、散る焰／我は何ぞや、匂ふ花
我は何ぞや、満く泪／焰と、花と、泪とを
或は経にはた偉に／我世の綾を織り成さむ」**

甲山は生涯に約千編の詩を残しています。明治37年、甲山は坪内逍遙の紹介で「新小説」に日露戦争を背景とする反戦詩「今のは写しゑ」を発表しました。与謝野晶子が「君死にたまふことなかれ」を発表する2ヶ月前のことです。

この「新小説」第9巻9号には「南山北山雨」と題して甲山の詩12編が掲載されています。上の詩「我は何ぞや」はその中の一編で、東北町の小川原湖畔に立つ文学碑に刻まれています。



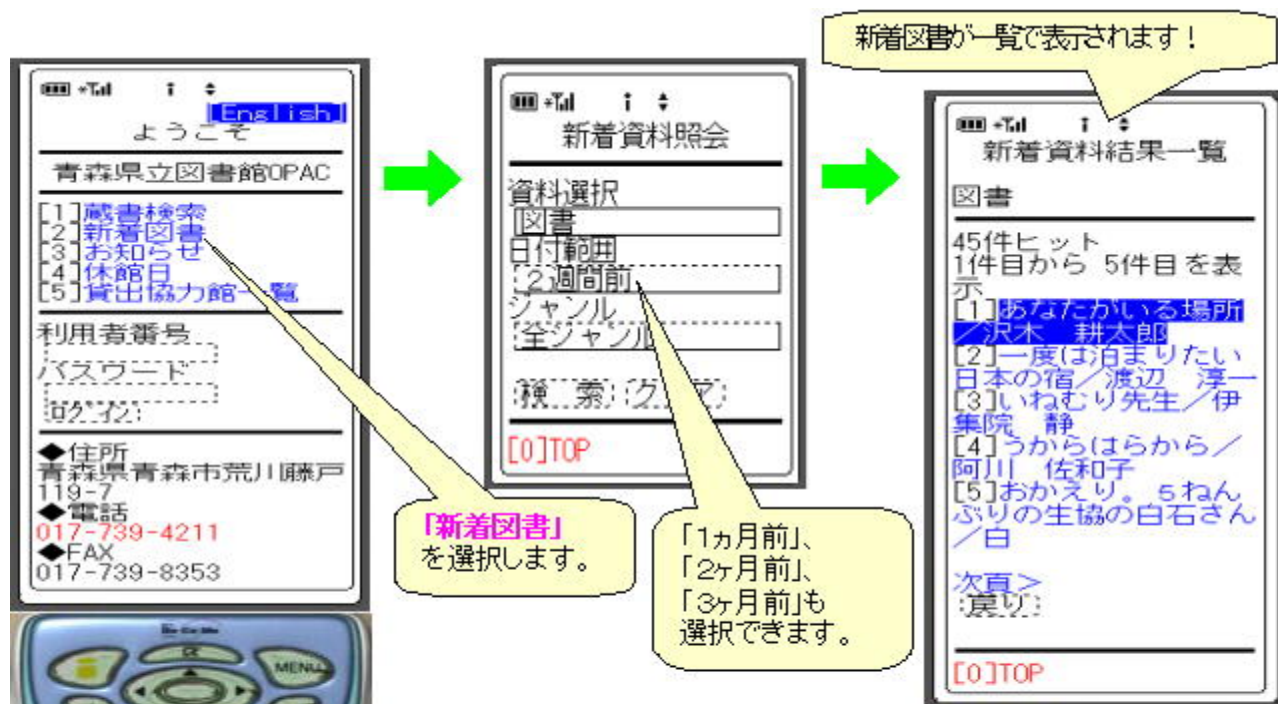
カウンターから一言 (第10回)

今回は、**携帯電話**でご確認いただける「**新着図書**」について、ご案内します。



当館のWeb OPAC (オンライン公開目録) は、携帯電話のインターネットでもご覧いただくことができますが、平成23年4月19日から「**新着図書**」も一覧でご覧いただけるようになりました。

表示された新着資料結果一覧からは、**本の内容紹介やサイズ等**のほか、**貸出中等の確認**ができますので、どうぞご利用ください！



* Web OPACの詳しい操作はこちら ⇒ [携帯電話操作ガイド](#)
オンライン貸出サービスの利用者登録をしている方は、利用者番号とパスワードでログインすると、「蔵書検索」機能で検索した場合と同様に、「**新着図書**」機能で表示された資料も**貸出・予約の申込み**ができます。

* オンライン貸出サービスの活用はこちら ⇒ [携帯電話活用ガイド](#)

オンライン貸出サービスの利用者登録には、県立図書館が発行する利用者カードと仮パスワードが必要です。ご希望の方は、カウンターに直接または郵送にて申込書をご提出ください。

* 申込書の様式はこちら ⇒ [利用者登録申請書\(ダウンロード\)](#)

編集後記

県立図書館の緑も日に日に濃さを増し、清々しい季節を迎えています。この春、進学、就職あるいは定年退職を機に、県立図書館のユーザーになられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

この「県立図書館だより」ではいろいろな図書館事業・サービスや活用のポイントなどをお伝えしていきます。(広報委員会)